

校長講話 38

令和6年 2月 5日(月)

校長 野尻 史子

おはようございます。

今日は、第2回岩淵小学校 俳句コンクールの表彰式をしたいと思います。

1月31日に、審査会をしました。クラスで選ばれてきているだけあって、どれも様子が浮かんでくる いい俳句でした。

感心したのは、みなさんがクラスの友達の作品をお互いに見合って決める「白梅賞」が、どれもすてきな作品だったということです。いい俳句を見る目が育ってきたのでしょうか。

いい俳句 というのは、わずか17文字なのに、読んだときに目の前に写真とか絵とか映像とか、なにかしら景色や様子が浮かんでくる作品 そこにいてそれを見ている、あるいはしている作者が、どんな気持ちでそこにいるのか、いつのまにか想像しているような作品ではないかと思います。きっと、季語も入れられるようになると、さらに様子や気持ちが届きやすくなりますね。

ですので、先生方の審査では、作者の気持ちが伝わってくる俳句を選ぶようにしました。

この後の表彰で、作品も紹介しますので、みなさんも、どんなけしきか、どんなきもちか、想像しながら鑑賞してくださいね。

岩淵の「ち」、俳句作りに ちからいっぱい チャレンジしたみなさんに 拍手を送りたいと思います。よくがんばりました。お話を終わります。

<先生方、ご協力ありがとうございました>

★岩淵かがやき賞 (全校で1名)

日の出みる ぼくと父の 冬の朝 4年 村松 優輝さん

★岩淵賞 (学年1名)

コートきて 一ぱんぼしを みいつけた	1年 葉鳥 すみれ さん
やきにくや ぎょうれつすぎて いえかえる	2年 櫻井 佑星 さん
ゆび黄色 みかん食べ過ぎ とまらない	3年 濱本 千結 さん
帰り道 白い息はく 通学路	4年 田中 朱理 さん
寒い朝 がんばれ体 冬の朝	5年 吳 心音 さん
しらめく雪をうもれて かき氷	6年 横井山 優輝 さん

★白梅賞 (クラスで1名 子供たちが投票)

はるになり さくらの上で ひとねむり	1年 森島 舞 さん
外を見て 雪がふったら いいのにな	2年 河原塚 すみれさん
お正月 おもしも気持ちも ふくらむよ	3年 木村 姫衣 さん
とうじの日 おふろの中で ゆずバスケ	3年 太田 昊花 さん
昼長く 夜が短く はるとなり	4年 佐藤 星那 さん
冬の外 白樺の葉が 雪みたい	5年 家田 実奈 さん
冬の夜 新年告げる かねの音	5年 黒須 栄希 さん
夢に向け 決意新たに 新年を	6年 黒石 煙輝 さん